

7つの目標 実施率78%

23年度末までに、市長が掲げる「7つの目標（46項目の挑戦）」を78%実施することができました。22年度末の実施率65%に対し、13%増えました。

○は実施し今後も継続するもの、△は着手しているが完了していないもの、×は検討したが実施できないものです。22年度末は△が16件です。

たが、このうち6件が○になりました。詳しくは市ホームページや市役所2階情報公開コーナーで閲覧できます。

☎ 企画課 70・5635。



目 標	46の挑戦項目数	実施状況 (件数)			実施率
		○	△	×	
1 人の和を拓げる (市民が主役)	3	3	0	0	100%
2 まちの力を再生させる (都市機能の再構築と産業の活性化)	11	9	2	0	82%
3 緑のまちを育てていく (緑の創出と保全及び環境ごみ対策の前進)	6	4	2	0	67%
4 人に優しいまちづくり (快適で安全安心な都市生活)	6	4	2	0	67%
5 生きる力を育てる (教育文化の充実を目指す)	8	6	2	0	75%
6 一人ひとりを幸せにする (健康と生きがいのシステム)	5	4	1	0	80%
7 持続可能な都市経営 (自立した基礎自治体としての行政経営)	7	6	1	0	86%
合 計		36	10	0	78%
		78%	22%	0%	

23年度の行革効果

第2期集中改革プラン

市では、18〜27年度を計画期間とする行政改革大綱と、その行動計画である「あやせ集中改革プラン」を策定し、行政運営から行政経営への移行を進めています。

同プランでは21年度末までの4年間で第1期とし、職員・組織・行政システムの三つの改革と、市民と行政の新しい関係づくりに取り組みました。

第2期では22年度からの3年間を成長期間として位置付け、行政経営への移行をさらに推し進めています。第1期の取り組みの充実・拡大を基に、人材育成の取り組みを強化し、職員の資質と変革意欲を高め、改革目標の達成を目指しています。

23年度の実績

全体の行政改革効果は、民間委託などによる4001万円の経費削減、有料広告など新しい財源の確保や未利用地売却などによる1億3461万円の増収です。

行政評価による改善

行政評価制度（事務事業評価制度）は、市民の視点に立ち、効率的な行政経営の推進を目的に、事務事業の改善を進めていく仕組みです。職員による評価に加え、市民が評価する外部評価委員会も設置しています。

23年度は34事業を対象に3段階で評価しました（図参照）。この結果を踏まえ、事業改善などを進めています。

市職員 (行政・建築・土木・保育士) 募集

▶試験区分など 表のとおり▶第1次試験日 7月22日(日) [育児休業代替任期付職員は7月12日(木)]▶会場 市役所会議室など▶採用予定人数 各区分若干名▶団▶期間 6月6日〜29日(必着)▶方法 市ホームページから電子申請、簡易書留か直接▶受験案内・申込書配布 職員課(土・日曜日は市民課)、スポーツセンター、中央公民館、各地区センター、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館、図書館(市ホームページからダウンロード可)▶その他 詳しくは受験案内参照▶☎ 職員課 70・5607

試験区分・レベル	受験資格	採用予定時期
行政 (大学卒程度)	昭和57年4月2日〜平成3年4月1日生まれ	来年4月以降 (最終学校を既に卒業した方は今年10月以降の採用もあり)
建築 (大学卒程度)	昭和54年4月2日以降に生まれ、学校教育法に規定する大学の建築に関する学部・学科を卒業したか、来年3月卒業見込みか同等の知識を有する	
土木 (大学卒程度)	昭和54年4月2日以降に生まれ、学校教育法に規定する大学の土木に関する学部・学科を卒業したか、来年3月卒業見込みか同等の知識を有する	
育児休業代替任期付職員	保育士 資格を有する(年齢要件なし、定年60歳)	職員の育児休業の取得状況に応じて



外部評価の結果は次のとおりです(一部抜粋)。

●任意事業費(配食サービス事業運営委託)

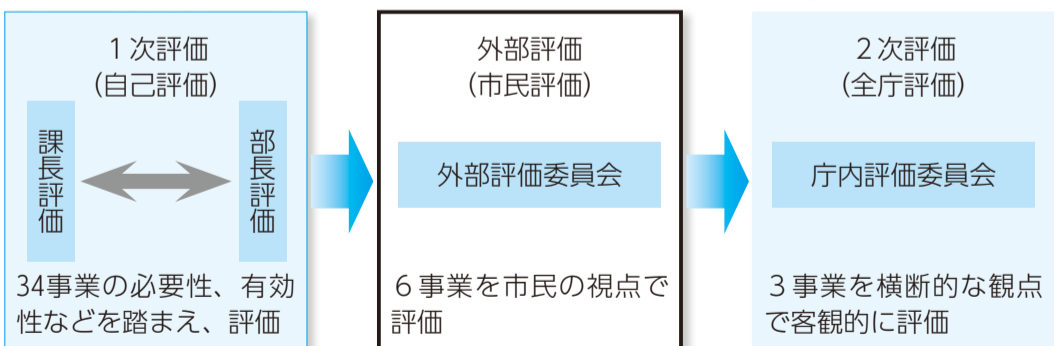
昼食だけでなく、夕食や療養食への対応など、利用者のニーズに合わせた選択可能で、きめ細やかな対応を検討する。

●なんでも健康相談事業

相談業務の位置付けを明確にし、類似事業との整合性を図る。

詳しくは市ホームページや市役所情報公開コーナーで閲覧できます。

7. ☎ 行政課 70・565



笠間善晴氏



綱嶋洋一氏

3. ☎ 議会事務局 70・564

▼議会運営委員会 ◎山田晴義氏◎松本春男氏▼総務教育常任委員会 ◎出口けい子氏◎橋川佳彦氏▼市民福祉常任委員会 ◎増田淳一郎氏◎佐竹百里氏▼経済建設常任委員会 ◎安藤多恵子氏◎武藤俊宏氏▼基地対策特別委員会 ◎比留川政彦氏◎井上賢二氏▼議会報編集委員会 ◎笠間昇氏◎内山恵子氏

議長に
綱嶋洋一氏
副議長に
笠間善晴氏